









問題2の正解は・・・

③ 震度6弱から6強



阪神淡路大震災(1995年)や熊本地震(2016年)では、震度6や7の大きな揺れにより多大な被害がでました。同じような地震(揺れ)があなたの住むまちを襲ったら、どういう被害が考えられるでしょう。

<気象庁震度階級関連解説表> (平成21年3月31日～)

震度階級	説明	震度階級	説明
0	人は揺れを感じない。 	5弱	◎物につかまらなると歩くことが難しい。 ◎棚にある食器類や本が落ちることが多くなる。 ◎固定していない家具が倒れることがある。 ◎補強されていないブロック塀が崩れることがある。 
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。 	5強	◎立っていることが困難になる。 ◎固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ◎壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ◎耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 	6弱	◎はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ◎固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ◎耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ◎大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 	6強	◎耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ◎耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ◎耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 
4	◎ほとんどの人が驚く。 ◎電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ◎座りの悪い置物が、倒れることがある。 	7	
5弱	◎大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ◎棚にある食器類や本が落ちることがある。 ◎固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 